



Bluetooth® クレードル付き片耳イヤホン RBTEMMS03シリーズ

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

この説明書をよく読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要ときお読みください。安全に正しくお使いいただく為に、必ずお読みください。

■安全上のご注意

危険

【誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性があり、その切迫の度合いが高い内容】を示しています。

- 本製品の充電式電池(リチウムイオン電池)が液もれた場合は素手では触らない
- 充電式電池の液体が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診断を受けてください。失明の原因となります。
- 充電式電池の液体が皮膚や衣服に付着した場合はすぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に違和感のある場合は医師の診察を受けてください。

警告

【誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容】を示しています。

- 本製品を病院内や医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 航空機内などワイヤレス機器の使用が禁止・制限された場所ではその指示に従う
電波が影響をおよぼし、機械の誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 走行中の運転者によるスマートフォンや携帯電話の操作は行わない
運転者による操作は事故の原因となります。安全な場所に停車してから操作をおこなってください。
- 踏切や駅ホーム、自動車の通る道、工事現場等、周囲の音が聞こえないと危険を伴う場所では使用しない
交通事故の原因となる恐れがあります。
- 乳幼児の手の届く場所にはおかない
誤飲の恐れがあり、窒息などの原因となる恐れがあります。
- 火の中に入れてない、加熱しない
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。
- 水の中に入れてない
感電・火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
破損・故障の原因になります。

安全にお使いいただく為に必ずお守りください

注意

【誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容】や【物的損害の発生が想定される内容】を示しています。

- 本製品をご使用前に、必ずスマートフォン本体の取扱説明書に記載されているイヤホンマイクに関する項目や注意事項をよくお読みの上、安全に正しくご使用ください。
- 接続する機器の音量調節機能設定をよくご確認ください。最大の設定になっている場合、お客様の耳を痛める恐れもありますので十分にご注意ください。
- 水、飲み物、ベットの尿など、液体がかかったらちに使用を中止してください。
- 本製品の使用により肌に異常があらわれた場合は、使用を中止し医師の診断を受けてください。
- 使用温度範囲内の環境で充電、使用してください。
- 高温直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所を避けて保管してください。
- 機器に保存されたデータ(電話帳など電話機に登録された各種メモリーやメディアファイル等)は、本製品の使用に関わらず期せず破損・消失する可能性があります。メモリーの控えを手帳などに取るか、データのバックアップを取る等して、メモリーが消失しても困らない様にしてからご使用ください。
- 本製品の使用は日本国内に限ります。国外での使用時のトラブル等は一切責任を負いません。
- 本製品の使用に関して、上記の注意に従えない場合、誤った使用方法、用途外の使用による事故、故障、破損、メモリー内容の消失等の補償はお受け致しかねますので、予めご了承ください。
- 本製品の使用(機器との接続を含む)、または使用不能から生ずる付随的な損害(通話内容の変化・消失、利益の損失、それらに伴う諸費用など)に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

■使用上のご注意

- 電波について
 - 本製品は、電波法に基づいて工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。
 - 本製品は、工事設計認証を受けています。分解および改造を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品は日本国の電波法に適合した製品であり、他の国の法律・安全規格には適合しない場合があるため、日本国内で使用してください。
 - 本製品は同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器(無線LANを使用する機器・電子レンジなど)の影響によって音声が届かないなど電波干渉による障害が発生することがあります。本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器からは離れてご使用ください。

- 通信距離について
 - 障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品を接続先機器の近くで使用してください。

- 内蔵の充電式電池について
 - バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。
 - 十分に充電した状態で使用時間が短くなったり、使用できなかった場合は電池の寿命となります。(電池の交換はできません)
 - 本製品を使用せず長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下しますが、充電電流を繰り返すことで性能が回復することがあります。

■本製品を処分する場合

Bluetooth機器の回収を行っている小型家電リサイクル回収拠点※にお持ち込みいただくか、お住まいの地方自治体の廃棄処分方法に従ってください。※小型家電リサイクル回収拠点によって回収品目が異なる場合があります。

株式会社デレホンリース 株式会社ラスタバナナ

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-13-1

製品に関するお問合せ @mail: info2@rastabanana.com

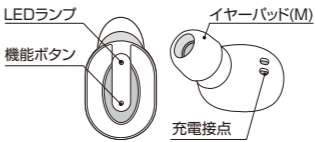
※注: 注: 本製品の廃棄・処分は、お住まいの自治体の資源物回収センターへのご持込みをお願いします。お住まいの自治体の資源物回収センターに記載した本製品もご使用可能な機器の回収をお願いします。

■内容物

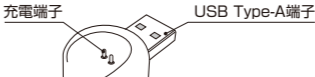
- イヤホン本体1台
- 充電クレードル各1個
- イヤホンパッド各1個
- 取扱説明書1部(本書)

■各部の名称

イヤホン本体



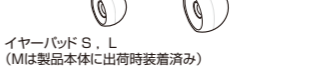
充電クレードル



イヤホン取り付け時



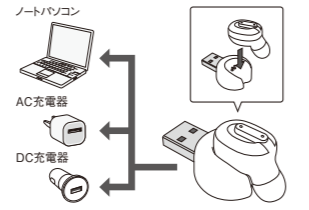
付属品



■使用方法

充電する

- 本製品をお使い頂く前に充電クレードルを使用してイヤホン本体を充電する必要があります。
- ※充電の目安は電池切れの状態から約1.5時間です。
- ①イヤホン本体を充電クレードルの端子に合わせて設置し、充電クレードルを電源に接続します。
- ②イヤホン本体のLEDランプが赤く点灯したら充電が開始します。



※使用中にスピーカーから音声ガイダンス(Low Battery)が鳴ったら電池残量が低下していることを示しています。その際は充電クレードルへイヤホン本体を置き充電を行ってください。

電源のオン/オフ

- 機能ボタンを使用する場合**
電源オン : イヤホン本体の機能ボタンを3秒長押しするとLEDランプが青く点滅します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Power on)が鳴ります。
- 電源オフ : 機能ボタンを5秒長押しするとLEDランプが赤く点滅します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Power off)が鳴ります。
- 電源に接続された充電クレードルを使用する場合**
充電クレードルからイヤホン本体を取り外すことで電源をオンに、イヤホン本体を充電クレードルに設置することで電源をオフにすることができます。

接続先機器とペアリング

- 本製品を使用するためには、お使いの機器と本製品をペアリング(本製品を機器に初期登録する操作)する必要があります。
- ※接続先の機種やOS(システム)のバージョンによっては操作方法が異なる場合があります。接続先機器の取扱説明書に記載のBluetoothの接続方法の項目と合わせてお読みください。

1.本製品をペアリングモードにする

- ①イヤホン本体の機能ボタンを3秒長押しして電源をオンにします。その際に音声ガイダンス(Power on)が鳴り、続けて(Pairing)が鳴ります。
- ②LEDランプが赤青交互に点滅します。

2.接続先機器で本製品を検索する

- ①スマートフォン等の接続先機器のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。
- ②しばらくすると検索結果に「RBTEMMS03」が表示されます。

3.接続先機器で本製品を登録する

- ①検索結果に表示された「RBTEMMS03」を選択します。
 - ②本製品のスピーカーから音声ガイダンス(Connected)の通知があります。LEDランプが消灯しペアリングが完了しました。
- ※接続先の機器によってはパスワード(PIN/パスキーと呼ばれる場合があります)の入力が必要になる場合があります。その場合は「0000」を入力してください。
- ※ペアリング中に操作を間違えたり、失敗した場合は、イヤホン本体の電源をOFFにして、もう一度始めからやり直してください。

2回目以降の接続について

- ①本製品の電源をONにします。
 - ②電源がONになるとLEDランプ青く点滅します。
 - ③接続先機器のBluetooth機能を有効にします。
 - ④自動的に接続されます。※
- ※充電中に着信があった場合は接続先機器に表示されているリストから、「RBTEMMS03」を選択してください。

主なペアリング方法

iOSの場合(iPhone / iPad / iPod等)

- ▶【設定】 ▶【Bluetooth】 ▶ BluetoothをONにする。
- ▶【RBTEMMS03】を選択 ▶ 接続完了

Androidの場合(スマートフォン / タブレット)

- ▶【設定】 ▶【無線とネットワーク】 ▶【Bluetooth】 ▶ BluetoothをONにする。▶【RBTEMMS03】を選択 ▶ 接続完了

※上記は一例です。ペアリング方法の詳細は接続先機器の取扱説明書に記載のBluetoothの接続方法をご確認ください。

マルチポイント(2台目のペアリング)

- 本製品は2つの機器と同時に接続することができるマルチポイントに対応しています。イヤホン1台に対してスマートフォン2台を同時に待ち受けをすることができ、どちらに着信しても接続し直すことなくすぐに応答できます。
- ※片方の機器で通話中にもう片方の機器に着信があった場合、先に開始した通話が終了するまでイヤホンによる応答はできません。
- ①電源がオンになっている場合は機能ボタンを5秒以上長押しして電源をオフにします。
- ②再度機能ボタンを5秒以上長押しするとペアリングモードになります。
- ③[接続先機器とペアリング]の項目を参考に2台目の機器を操作してペアリングを行います。
- ④2台目の機器とのペアリングが完了したらイヤホン本体の電源を入れなおしてください。

ハンズフリー通話をする

- (着信時)
電話を受けて、通話を開始 機能ボタン(1回短押し)
着信を拒否 機能ボタン(2秒間長押し)
- ※充電中に着信があった場合は、充電クレードルからイヤホン本体を取り外してから約5秒でペアリング状態になり機能ボタンを押すと通話が開始します。

(着信時)

- 通話を終了 機能ボタン(1回短押し)

※全ての環境でご使用いただける事を保証するものではありません。

音楽を聴く

- 接続先機器を操作し、音楽再生アプリケーションを起動してください。
- 再生・停止 機能ボタン(1回短押し)
- 曲送り 機能ボタン(2回短押し)
- 曲戻し 機能ボタン(3回短押し)
- ※Bluetoothの(A2DP) 音声出力に対応していない接続機器およびアプリケーションでは、本製品を使用して音楽を聴く事はできません。
- ※Bluetoothの(AVRCP)リモコン操作に対応していない接続機器およびアプリケーションでは、本製品のボタン操作での再生・停止/曲送り/曲戻しを行う事はできません。

主要操作の一覧

	ボタン操作	LEDランプの状態
電源オン	機能ボタン(約3秒長押し)	青点滅3回
電源オフ	機能ボタン(約5秒長押し)	赤点滅3回→消灯
着信応答	機能ボタン(1回短押し)	消灯
着信拒否	機能ボタン(2秒長押し)	消灯
終話	機能ボタン(1回短押し)	消灯
音声アシタタキ起動	機能ボタン(2秒長押し)	消灯
音楽の再生・停止	機能ボタン(1回短押し)	消灯
音楽の曲送り	機能ボタン(2回短押し)	消灯
音楽の曲戻し	機能ボタン(3回短押し)	消灯

音声ガイダンス

	音声ガイダンス	LEDランプの状態
電源オン	Power on	青点滅3回
電源オフ	Power off	赤点滅3回→消灯
ペアリングモード	Pairing	赤青交互に点滅
接続完了	Connected	消灯
接続解除	Disconnected	消灯
電池残量低下	Low Battery	赤点滅

■困ったときは

電源が入らない	• 電池残量が少なくなっています。お手持ちのパソコン、AC充電器などで十分に充電してからお使いください。
ペアリングの際に、接続先機器で検出できない	• 本製品がペアリングモードになっているか、確認してください。 • 接続先機器の Bluetooth 機能を一度無効にした後で再度有効にしてください。検出されるまでに10秒程度時間がかかる場合があります。
ペアリング後に接続されない	• 複数の機器とペアリングを行った場合、別の機器に接続されている場合があります。使用しない機器の接続を解除するか、Bluetooth機能をOFFしてから再度接続してください。 • 接続先機器の Bluetooth 機能を一度無効にした後で再度有効にしてください。検出されるまでに10秒程度時間がかかる場合があります。
音楽が聞こえない	• 接続先機器がA2DPに対応していることをご確認ください。 • 音量が0になっている場合があります。接続先機器のボリュームボタンで調節してください。
音楽は聞こえるが、ボタンで操作できない	• 接続先機器がAVRCPに対応していることをご確認ください。
(ハンズフリー通話時)相手の音声が聞こえない	• 接続先機器がHFPまたはHSPに対応していることをご確認ください。 • 接続先機器によっては音声の出力先を選択する必要がある場合があります。接続先の取扱説明書をご確認ください。
(ハンズフリー通話時)相手に声が届かない	• 接続先機器がHFPまたはHSPに対応していることをご確認ください。 • 接続先機器によってはマイクの入力元を選択する必要がある場合があります。接続先の取扱説明書をご確認ください。

※接続先機器の操作方法は弊社でサポートしていません。接続先機器の取扱説明書に記載のBluetoothの接続方法の項目をお読みください。